

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 5 日(2024.8.5)

【公開番号】特開 2024-69455(P2024-69455A)
【公開日】令和 6 年 5 月 21 日(2024.5.21)
【年通号数】公開公報(特許)2024-092
【出願番号】特願 2024-39718(P2024-39718)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 7 月 26 日(2024.7.26)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値との差分が特定値に達したか否かを判定する判定手段と、
遊技機の状態を制御する遊技制御手段と、
を備え、
前記差分が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能であるが、前記有利状態中に前記差分が前記特定値に達したと判定された場合には、前記有利状態の終了後に前記遊技不能状態に制御可能であって、
特定異常が発生した場合には、当該遊技機の電源の再投入により該特定異常が解消可能とされ、
前記有利状態中に前記差分が前記特定値に達したと判定されてから前記遊技不能状態に制御されるまでの所定期間で前記特定異常が発生し、その後に当該遊技機の電源の再投入が行われた場合には、前記特定異常を解消しつつも前記有利状態を初期化せず、前記所定期間に復帰可能とした

30

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0007】

40

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値との差分が特定値に達したか否かを判定する判定手段と、
遊技機の状態を制御する遊技制御手段と、

50

を備え、

前記差分が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能であるが、前記有利状態中に前記差分が前記特定値に達したと判定された場合には、前記有利状態の終了後に前記遊技不能状態に制御可能であって、

特定異常が発生した場合には、当該遊技機の電源の再投入により該特定異常が解消可能とされ、

前記有利状態中に前記差分が前記特定値に達したと判定されてから前記遊技不能状態に制御されるまでの所定期間で前記特定異常が発生し、その後に当該遊技機の電源の再投入が行われた場合には、前記特定異常を解消しつつも前記有利状態を初期化せず、前記所定期間に復帰可能とした

10

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0009】

このように、本発明によれば、遊技機の管理の適正化を図ることができる。

30

40

50